

熱く 羽ばたけ 大潟っ子 白鳥



校長通信
大潟村立大潟中学校
令和6年7月11日(木)発行
NO.2 文責:小玉 克男

学校教育目標 : 高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成
～笑顔と感動のあふれる大潟中～

虎尾國民中學の先生方が来校しました！

7月5日(金)、台湾の雲林県立虎尾國民中學から、王校長先生、江先生、林先生の3名が本校を訪問し、生徒の授業や活動の様子を参観していただきました。本校と虎尾國民中學は、創立年が同じこと、キャリア教育(台湾では職業教育)に力を入れていること、農村地区で自然豊かなことなど共通している点が多く見られることが分かりました。

虎尾國民中學の先生方からは、生徒が一生懸命に勉強や活動に取り組んでいる姿が素晴らしい、という感想をいただきました。また、生徒が作成した歓迎のポスターや社会科で取り組んだ台湾についての調べ学習を見て、とても喜んでいました。校舎がきれいで、敷地面積が広いことに驚き、特にトイレがきれいでおいがないことに感動していました。

共通点もありますが、台湾と日本で異なることも多くあります。互いの文化を知ることは、国際理解の第一歩となることです。今後は、生徒の相互交流に向け、スケジュールなどを具体化していく予定です。



歓迎セレモニー

当日10:00から、体育館にて歓迎のセレモニーを行いました。生徒会執行部の生徒が司会進行を担当し、はじめに生徒会長の〇〇〇〇さんが、中国語を交えて挨拶をしました。そして、体育祭で取り組んでいるよっちょれを披露しました。王校長先生は、「ヤーレンソーラン...という歌詞とメロディは、台湾にも伝わっていて、なじみのある曲だ」とおっしゃっていました。生徒の皆さんが、いい表情で取り組んでいる姿を見て、「素晴らしいパフォーマンス」だと大絶賛でした。



歓迎の言葉

生徒会長 〇〇 〇〇 さん

こんにちは。台湾虎尾國民中學のみなさん、ようこそ大潟中学校へおいでくださいました。皆さんを心から歓迎いたします。

ここ大潟村は、緑豊かな自然が広がり、稲作を中心とした農業が盛んな村です。私たち大潟中学校の生徒は、「創造」「充実」「発展」の校訓のもと、毎日の学習や学校行事、放課後の部活動などの様々な活動に取り組んでいます。大潟中学校の最大の特徴



は、ICT機器を使った活動が充実している点です。私たちは毎日タブレット端末や電子黒板などのICT機器を使って学習や様々な活動に取り組んでいます。また、大潟中学校は、地域の方々との繋がりも強く、地域の方から学ぶ機会もたくさんあります。

今日は、全校生徒で取り組んでいる「よっちょれ」という踊りを披露します。全校生徒が心を合わせて元気いっぱい踊りますので、楽しみにしててください。また、激励会の様子と吹奏楽部の演奏をご覧ください。どちらも迫力いっぱいですので、こちらも楽しみにしててください。短い間ではありますが、今日は楽しんでいってください。



激励会

歓迎セレモニーの終了後、ホールに移動し、吹奏楽コンクール中央地区大会と全県総体に向けての激励会の様子を見ていただきました。会場には、平日の午前中にもかかわらず、多くの保護者の皆さん、地域の皆さんも応援に駆けつけていただきました。女子卓球部、水泳、吹奏楽部の決意表明の後、吹奏楽部の演奏や応援委員によるエールなどが行われ、興味深くご覧になっていました。

7月7日(日)に行われた吹奏楽の中央地区大会では、本校吹奏楽部が見事金賞を受賞し、7月27日(土)の秋田県大会に出場することになりました。女子卓球部、水泳の選手の皆さんには、今週末の全県総体での健闘を期待しています。



覚書調印式

学校訪問終了後、大潟村役場に移動し、第1会議室にて、交流に係る覚書の調印式が行われました。覚書を交わしたのは、虎尾國民中學の王校長先生、大潟村子ども海外交流事業実行委員会の藤井会長、そして高橋村長です。今後、大潟中学校と虎尾國民中學が末永く交流を深めていくことを確認しました。

この交流事業により、本校生徒が日本と異なる文化に対する理解と認識を深め、多様性を身に付けるとともに、大潟村での生活や文化について改めて考えることができるのではないかと思います。また、同年代の台湾の中学生との心と心の触れ合いを通し、国際社会に貢献する豊かな人間形成につながることを期待しています。



新任の職員を紹介します。

前任者の退職に伴い欠員となっていた2年部の支援員として、6月から〇〇〇〇先生が勤務しています。鈴木先生は、大潟小学校で勤務していたので、生徒にもなじみのある先生です。紹介が遅くなってしまい、申し訳ありません。よろしくお祈りします。

6月から大潟中学校で勤務することになりました。子どもたちと共に活動できることをとても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

(2年支援員 〇〇 〇〇)